

統合目的で（自己署名）Threatgridから証明書をダウンロードする方法

内容

[問題](#)

[解決方法](#)

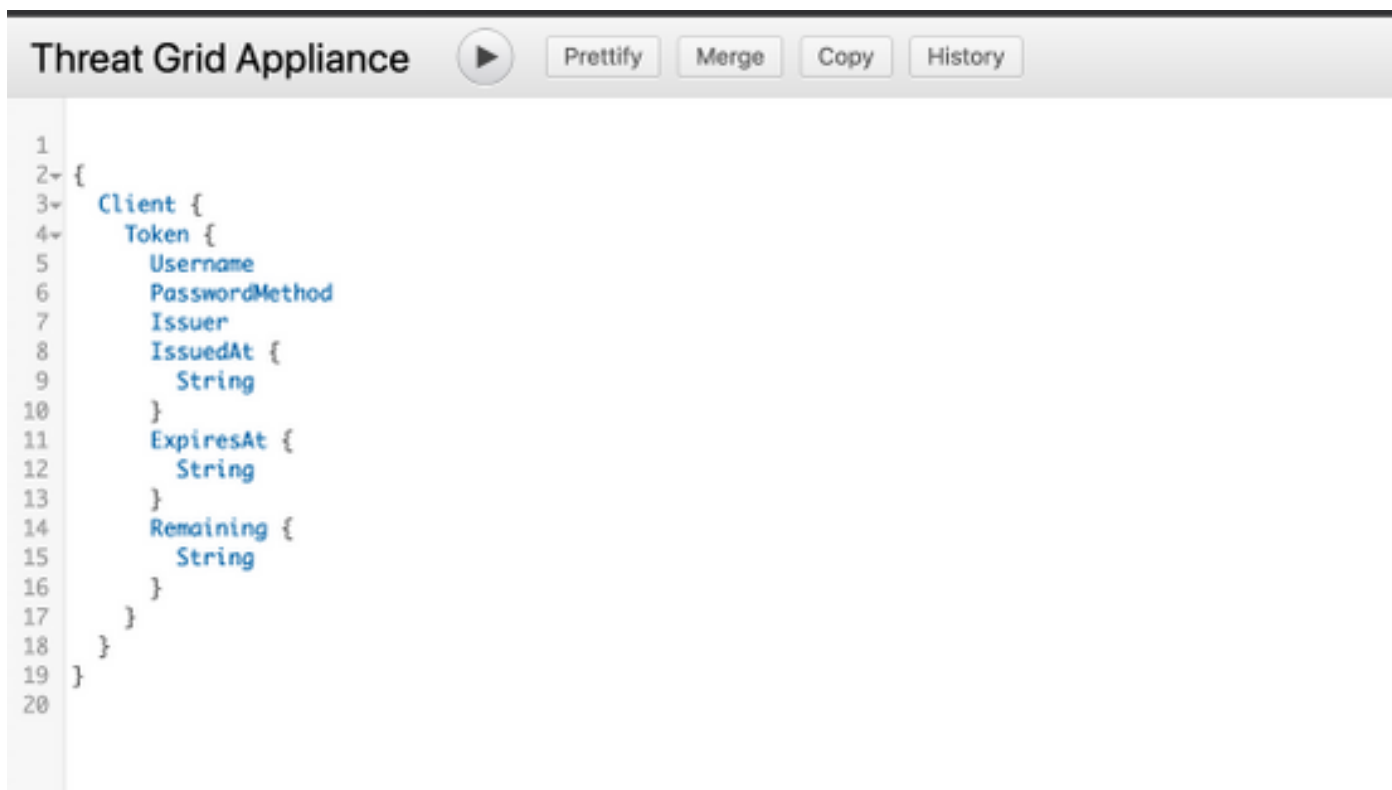
問題

ThreatgridをFirepower Management Centerなどのデバイスと統合するには、Threatgridアプライアンスのクリーンインターフェイスの証明書が必要です。Threatgridの新しい更新により、管理ポータルUIが完全にオーバーホールし、この更新により、セキュリティ上の問題により、証明書を直接ダウンロードするオプションが削除されました。したがって、自己署名TG証明書をUIから直接ダウンロードできなくなります。この記事では、同じダウンロードの可能なオプションについて説明します。

注：これは、Cisco TACで正式にサポートされていない回避策です。シスコの他の製品をThreatGridアプライアンスに統合する際には、お客様に署名付き証明書を使用することを推奨します。

解決方法

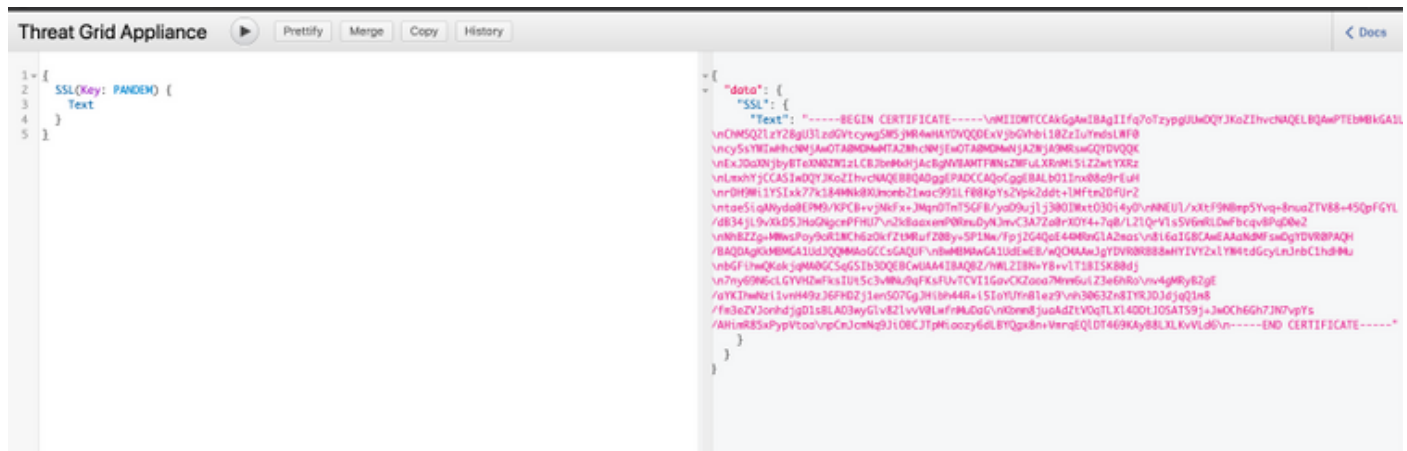
ステップ1: <https://<Opadmin FQDNまたはIP>/admin/graphql>に移動します。



```
Threat Grid Appliance [▶] [Prettify] [Merge] [Copy] [History]
1
2 {
3   client {
4     token {
5       username
6       passwordMethod
7       issuer
8       issuedAt {
9         string
10      }
11      expiresAt {
12        string
13      }
14      remaining {
15        string
16      }
17    }
18  }
19 }
20
```

ステップ2：次のように入力して実行します。

```
{
  SSL(キー : PANDEM) {
    テキスト
  }
}
```



ステップ3：戻り値はテキストをJSON文字列としてエンコードしており、使用する前にデコード（\nsを改行に変更）する必要があります。すべての\nを手動で新しい行に置き換えます。

ステップ4：変更が完了したら、.pem形式でファイルを保存し、同じファイルを使用します。

または、TGアプライアンスのCLEANインターフェイスに移動し、Firefoxなどのブラウザを使用して、そこで提示された証明書を保存し、統合に使用することもできます。

お客様は、証明書をDERエンコードされた.crtファイルとしてエクスポートする必要があります。

次に、OpenSSLを使用して、これを.pemファイルに変換する必要があります。この変換コマンドの例は、次の影響を受けます。

```
openssl x509 -inform DER -in yourdownloaded.crt -out outcert.pem
```